

認定こども園昭和幼稚園 平成 29 年度

学校評価公表シート（自己評価結果）

1. 認定こども園昭和幼稚園の教育・保育目標

幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、ひとりひとりをのびのびと心豊かに育てる。そして、集団生活、遊びを通して、人とかかわる力、心情、意欲、態度を培う。保育を必要とする子どもの生活を保障すると共に子育ての支援をする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園型認定こども園に移行し 3 年目を迎えた。保育所機能部分の保護者の利用度が増し、この制度が浸透してきたので前年度にも増して 1 号こどもの一時預かり保育の充実をはかる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組み状況
幼稚園の教育課程の編成を、学年単位、異年齢交流保育のチーム別の実施に於いて、教職員間で共通理解をする。保護者への周知徹底を促す。	平成 18・19 年度、幼児教育センター指定園としての発表後も、大阪教育大学名誉教授、元平安女学院大学教授の早川勝廣先生の指導を受け継続研究をしている。 幼稚園生活において異年齢交流保育を 3 年間経験する事によりしっかりと子どもの育ちが受けとめられる。 年度末における保護者へのアンケートにより、年度を増すにつれ確かなものになり、当園のあたりまえの保育になってきている。そして、少子化の現在 異年齢交流保育における子どもの育ちが期待されている。
本年度の幼稚園型認定こども園移行に伴い保育者の労働形態や、現況の子どもの質が低下しない教育と保育の部分を構築する。	社会的ニーズに応えられる幼稚園として、預かり保育、地域との交流、幼小連携、発達相談等さまざまな面において再検討する。 新制度に移行し、11 時間開園が通常なものになった。土曜日は 1 号こどものホームクラスと 2・3 号こどもの利用時間内保育日となっている。 保育の質を下げない教職員の配置を考える。
教育・教諭の質の向上のための園内研修を深める。	子どもの育ちを保障するうえでも、学期末に講師と共に総括し検討し内容を充実させている。チーム別に毎週 1 回異年齢交流保育「なかよし」を実施するにあたり職員間の話し合いで子どもの予想される姿を捉える。職員同士共通認識し子ども理解が深まる。実施後反省会、報告会を持ち次の保育につなぐ。

<p>保護者のニーズの把握と共に幼児期の育ちにふさわしい環境を浸透させる。</p>	<p>保護者懇談、保育参観、行事参加、異年齢交流保育や、行事後、保護者へのアンケートや感想文を実施。回収後統計をとり、まとめ、結果を考察し、園の考えを示す。 新システム移行後 3 年が経過したため行事日程が保護者に浸透してきた。</p>
<p>安全管理</p>	<p>認定こども園に移行したため、園で過ごす子どもたちの時間が長くなる。そのため より警察や地域との連携を深め子どもたちの安全を守る。行事の時は関係者以外の来園を阻み、許可された来園者にはリボンをつけるようにする。</p>

4. 学校の評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>A</p>	<p>教育の質向上に現況保持。 教育終了後の保育部分の充実と工夫。 未就園児クラスにおいては 3 号子どもと週 3 回の保育を必要としない子どもたちが共に遊ぶことにより、3 号こどもの日々の生活にも変化があり楽しく過ごすことができている。 3 号子どもにおいては保育を必要としない子どもが良い意味で人的環境になっている。 新制度に移行 3 年目で少しずつ子ども達の生活形態が整いつつあるが国籍他さまざまな環境の子どもが増し、対応の難しさも感じる。</p>
----------	---

※「4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者のニーズと保育所機能	<p>建学の精神、私学の独自性を考慮し、また現況における子どもの育ちを配慮しつつ、且つ保護者のニーズに応えられるように職員配置と勤務形態を考える。それと共に保護者に人格の基礎を培う幼児期での親の存在の必要不可欠性を理解してもらう。</p> <p>1号子どもの長期休暇中の預かり保育を今以上に検討し保育部分を充実させるように努力する。</p>
情 報 公 開	<p>以前より保健センターも積極的に園紹介に取り組んでいるので正確な情報を提供するよう努める。</p> <p>重要事項その他すべて園のホームページにアップされている。公開して良いものと公開してはいけない秘守義務を伴うもの種別を認識する。</p>
安 全 対 策	<p>保育時間が長くなっているので子どもの安全な環境を保持するためにも各種研修に積極的に参加し安全に対する知識を獲得する。火災・震災に対する避難訓練実施、および防犯・防火教室の実施。各教職員が救急救命講習を受けることが出来るように努める。</p>
個人情報管理	<p>園児の個人情報の管理が適切に行われているか、チェックシートにおいて確認する。</p> <p>管理において教職員で共通認識を持ち、園で使用するパソコン、カメラ等のデータ管理について確認し、紙媒体は適切な廃棄(指定業者による融解処分)を行う。</p> <p>マイナンバーの適切な管理。</p>
特 別 支 援	<p>年々気になる子どもが多くなって来る。当園の臨床心理士と共に個別の指導に終わるのみでなく学期毎に園内研修に取り組み、全員の教諭が共通認識を持ち当児に接する。</p> <p>加配の教諭と共にその子を含めてのクラス運営を考える。</p>

6. 学校関係者の評価

<p>運営は少し苦しいが質の高い教育が提供されている。</p> <p>幼稚園としての誇りを持ち学校評価にも積極的に取り組まれている。</p> <p>2号利用者が多くなっているが親の就労支援にのみ終わるのではなく今子ども達にとって大切な環境を提供しなければならない。</p> <p>教員配置は困難になるが今後1号こどもの預かり保育の日数や時間を増やすことで2号こどもとの差が縮まるのではないか。</p>
--

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されているがなるべく支出を抑えるよう指摘をうけた。移行後一年目の27年度のみ黒字経営で29年度も支出超過であったが昨年度に比べると押さえられている。

園方針の教職員の処遇改善は加算されても園への給付が満たされなければ質の高い教育は保障されない。

学校法人 昭和幼稚園

平成 29 年度財務情報

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

資金収支計算書

収入の部	
区分	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	9,506,760
寄付金収入	1,800,913
補助金収入	58,193,068
事業収入	3,996,476
雑収入	2,784,134
前受け金収入	0
その他の収入	9,739,683
資金収入調整勘定	△2,178,569
前年度繰越支払資金	10,730,990
収入の部合計	94,573,455

支出の部	
区分	総計 (円)
人件費支出	55,167,396
教育研究経費支出	12,527,438
管理経費支出	8,922,725
設備関係支出	0
その他の支出	9,208,211
資金支出調整勘定	△2,666,171
翌年度繰越支払資金	11,413,856
支出の部合計	94,573,455

事業活動収支計算書

教育活動収入の部	
科目	総計 (円)
学生生徒等納付金収入	9,506,760
寄付金収入	1,300,913
補助金収入	58,193,068
事業収入	3,986,876
雑収入	2,784,134
教育活動収入の部合計	75,771,751

教育活動支出の部	
科目	総計 (円)
人件費支出	55,167,396
教育研究経費支出	13,988,403
管理経費支出	9,047,770
教育活動支出の部合計	78,203,569

教育活動外収支	
	総計 (円)
教育活動外収支差額	11,006
経常収支差額	△2,420,812
特別収支差額	500,000

貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在 単位：円)

資産の部		
科目		総計 (円)
固定資産		38,779,701
内訳	有形固定資産	30,103,261
	その他の固定資産	8,676,440
流動資産		11,764,044
資産の合計		50,543,745
負債、基本金及び消費収支差額の部		
科目		総計 (円)
固定負債		0
流動負債		767,587
負債の部合計		767,587
基本金		93,426,454
(うち第 1 号基本金)		(88,426,454)
翌年度繰越消費支出超過額		△43,650,296
純資産の部合計		49,776,158
負債、基本金及び消費収支差額の部 合計		50,543,745

この財務諸表は 学校会計基準に準拠し、公認会計士による監査を受けています。

監査報告書

私立学校法第37条（第4項）及び寄付行為第34条の規定に基づいて、平成29年度決算にかかる事業報告、決算報告及び関係書帳票、証拠書類並びに理事の業務執行状況について監査したところ、その事業の執行及び財務諸表の内容は、適正であることを認めます。

平成30年 6月17日

監事 桑 畑 芳 初 

監事 東 堀 洋 子 

学校法人 昭和幼稚園

平成 29 年度

事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1. 法人の概要

- I. 名称 学校法人 昭和幼稚園 (大阪府公認)
- II. 住所等 大阪府大阪市大正区泉尾 1 丁目 37 番 1 号
電話番号 06-6551-1055
ホームページ <http://www.showa.ed.jp>
- III. 設置する学校
認定こども園 昭和幼稚園
- IV. 理事長氏名
大井文子

2. 事業の概要

I. 教育目標

- ・ 適当な環境を与えて、のびのびとその心身の発達を助長する。
- ・ 自分で考え、意欲を持って行動する子ども、みんなで力を合わせてやり抜く子どもを育てる。
- ・ 異年齢交流保育を通し人とかかわる力を育てる。
- ・ 保育を必要とする子どもの育ちを保障する。

II. 定員・実員学年内訳 (平成 29 年度 5 月 1 日現在) ※ () 内はそのうちの 2 号こども数

	2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		合計
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	園児数
定員	1	5 (3 号 こども)	2	30(10)	1	30(10)	1	30(10)	95
実員	1	5	2	20(4)	1	19(10)	1	27(10)	71

III. 保育時間 (教育)

- ・ 月～金曜日…午前 9 時 30 分～午後 2 時
- ・ お弁当日…火、木曜日
- ・ 給食日…月、水、金曜日

IV. 保育料及び諸経費

- ・ 保育料 保護者の居住する市町村が定める保育料 (利用者負担額)
- ・ 保育料以外の費用 (特定負担額) 重要事項説明参照
- ・ 保育料以外の諸経費 重要事項説明参照

V. 入園時の費用

- ・ 制服・体操服・カバン・帽子・個人持ち道具代 (入園時)
 - ・ 5歳児25,000円、4歳児24,000円、3歳児23,000円 程度
 - ・ 2歳児 個人持ち道具代2,500円程度 (制服・かばん指定無し)
- ・ 入園料 徴収無し

VI. ホームクラス (預かり保育)

- ・ 平常保育日 月～金曜日…午前8時00分～午前9時00分
午後2時～午後7時まで
土曜日 (第2を除く) …午前8時00分～午後2時30分

3. 行事の実施状況

- ・ 4月 始業式、入園式、SHOWA 保護者会総会、消防訓練、お誕生日会
- ・ 5月 身体測定、子どもの日お祝い、尿検査、お誕生日会、SHOWA 保護者会総会、王子動物園へ遠足 (保護者同伴)、SHOWA 保護者委員会・SHOWA お母さん交通安全クラブ 合同委員会
- ・ 6月 内科検診、歯科検診、大阪府警本部による交通安全指導 (全園児・保護者) 保育参観、異年齢交流保育、お誕生日会、年長児卒園記念パネル製作、SHOWA 保護者会総会例会
- ・ 7月 プール、お誕生日会、七夕まつり (夕涼み会)、異年齢交流保育、終業式、夏期保育、年長児お泊り保育 (7/28～29)、
- ・ 8月 夏期特別ホームクラス (プール)、8/31 大掃除 (保護者会協力)
- ・ 9月 始業式、入園説明会
SHOWA お母さん交通安全クラブ危ないヶ所チェックパトロール、お誕生日会、秋の交通安全キャンペーン参加 (年長有志)、異年齢交流保育、
- ・ 10月 新入園児願書受付、運動会、おイモ掘り遠足、焼いもパーティー (雨天中止)、お誕生日会、視力検査 (年長・年中)、ルビー&ゴールドふれあい広場、異年齢交流保育、おみせやさんごっこ
- ・ 11月 バザー・6年会 (卒園生同窓会)、泉尾高校文化祭 (年長)、一日動物園、園外保育 (服部緑地)、幼児防火教室、七五三詣り、異年齢交流保育、SHOWA 保護者会総会・異年齢交流保育の参観、新入園児健康診断・面接、お誕生日会
- ・ 12月 おゆうぎ会、異年齢交流保育、お誕生日会、終業式
- ・ 1月 始業式、視力検査 (年少)、お誕生日会、異年齢交流保育
- ・ 2月 節分まめまき、作品展、お別れ親子遠足 (年長親子)、泉尾北小学校一年生との交流会 (年長)、お誕生日会、異年齢交流保育、異年齢交流保育劇あそび発表会 (保護者観劇)
- ・ 3月 身体測定、ひな祭り、保育参観、お別れ観劇会、異年齢交流保育、お誕生日会、卒業式、修了式、春休みホームクラス